

報道関係者各位

2026年6月29日

誰もが自分らしく生きられる「豊・楽・快（ゆたか）」な社会を目指して

ケイアイスター不動産が LGBTQ+ への 理解と支援を広げる「Pride Action30」に初協賛

ケイアイスター不動産株式会社（本社／埼玉県本庄市、代表取締役社長／埴 圭二、以下「当社」）は、LGBTQ+をはじめとするマイノリティの方々にとって働きやすい環境づくりを前進させることを目的としたプロジェクトである「PrideAction30」に初めて協賛しました。

当社グループでは、持続可能な開発目標（SDGs）を支援しており、すべての従業員が互いの多様性を認め合い、個々の能力を最大限に発揮できる職場環境の整備を進めています。

今回の協賛を通じて、社内外における LGBTQ+ に関する理解促進と、多様性を尊重する文化の醸成をさらに強化します。



本取り組みの背景と社会的意義

近年、企業経営における ESG やサステナビリティの重要性が高まる中、多様な人材の活躍を支える「ダイバーシティ・エクイティ & インクルージョン」の推進は、持続的な成長に向けた重要な経営課題となっています。当社は「すべての人に持ち家を」をビジョンに掲げ、多様なお客様のライフスタイルに寄り添った分譲住宅事業を展開しています。お客様に最適な住まいを提供するためには、まず住まいを提供する当社の従業員自身が多様な価値観を持ち、お互いを尊重し合える環境であることが不可欠です。

このような背景から、当社は性的マイノリティへの理解を深め、誰もが偏見なく自分らしく働くことができる社会の実現に寄与するため、「PrideAction30」への協賛を決定しました。

今後の展望

当社は今後も、多様なバックグラウンドを持つすべての従業員が安心して働くことができ、やりがいを持って日々の業務に取り組める環境づくりを継続して行います。誰もが自分らしく輝ける組織を構築することで、企業価値のさらなる向上を目指すとともに、豊かな社会の実現と持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献します。

■ ケイアイスター不動産株式会社とは

「豊かで楽しく快適なくらしの創造」を経営理念に、「すべての人に持ち家を」をビジョンに掲げ、『高品質、だけど低価格なデザイン住宅』を供給しています。

仕入から販売までを一気通貫で行う、「KEIAIプラットフォーム」と「コンパクト戸建住宅」という独自のビジネスモデルによって、分譲住宅市場シェアの拡大を図ります。

事業エリアは、首都圏を中心に全国各地で分譲住宅事業を展開販売(※)しています。2026年3月期の売上高は3,939億円（※グループ連結数。年間9,489棟(土地含む)を販売）。

【会社概要】

社名 ケイアイスター不動産株式会社（コード番号：3465 東証プライム市場）
代表 代表取締役社長 塙 圭二
所在地 〒367-0035 埼玉県本庄市西富田 762-1
資本金 4,818百万円（2025.3.31現在）
設立 1990年11月
従業員数 2,664名（連結 / 2025.3.31現在）
URL <https://ki-group.co.jp/>
事業内容 分譲住宅事業、中古住宅再生事業、注文住宅事業、ストック事業、アパート事業、収益事業、分譲マンション事業、フランチャイズ事業、海外事業 ほか

【報道関係者からのお問合せ先】

ケイアイスター不動産株式会社 広報室 広報課

TEL：03-5299-7575 FAX：03-5299-7562 E-mail：press@ki-group.co.jp